

科目名	サッカーゲーム 6							年度	2026
英語科目名	Soccer game 6							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	永山、樋口（マリノス）、八重樫、志佐	教員の実務経験		有	実務経験の職種		クラブチーム、大学サッカー部にてサッカーコーチとして従事		
<b>【科目の目的】</b> 公式戦では、日頃のサッカートレーニング、フィジカルトレーニング、ゲーム分析を通じ、最大限のパフォーマンスを発揮し、上位カテゴリーへ昇格できるようにする。また、練習試合では公式戦で勝利するためのトライ&エラーをおこない、特にエラーについてはゲーム分析ならびトレーニングにて改善をし次戦では改善されたパフォーマンスが発揮できるようにする。									
<b>【科目の概要】</b> 神奈川県社会人サッカー公式戦とクラブユース・大学・高校との練習試合を実施します。									
<b>【到達目標】</b> A. 個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる B. チーム戦術の中で個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる C. 試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる									
<b>【授業の注意点】</b> 遅刻、欠席の場合は、授業前に教員室へ電話連絡をすること。 安全性を確保すること（学生自身の十分な体調管理、ゲーム環境の確認と設営）。 夏季は熱中症対策を強化する（各自水分補給を行うこと、回数の確保）。 授業時間数の4分の3以上出席しない者は評価対象外となり単位認定を認めない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる		個人としてのトライを行いエラーの理解が理解できる		個人としてのトライを行いエラーの理解が理解できない				
到達目標 B	チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる		チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解ができる		チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解ができない				
到達目標 C	試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる		試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれる		試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれない				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 必要に応じて資料を配布する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 成果発表、実技レベルのパフォーマンス向上度にて評価する。平常点。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		サッカーゲーム6			年度	2026
英語表記		Soccer game 6			学期	実技
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	練習試合① 高校	公式戦で勝利するために個人、チームが試合を通じトライ&エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える	2	
			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
2	練習試合② 大学	公式戦で勝利するために個人、チームが試合を通じトライ&エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
3	神奈川県 社会人 公式戦①	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
4	練習試合③ クラブユース	公式戦で勝利するために個人、チームが試合を通じトライ&エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
5	練習試合④ 大学	公式戦で勝利するために個人、チームが試合を通じトライ&エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
6	神奈川県 社会人 公式戦②	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
7	練習試合⑤ クラブユース	公式戦で勝利するために個人、チームが試合を通じトライ&エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
8	練習試合⑥ 大学	公式戦で勝利するために個人、チームが試合を通じトライ&エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
9	神奈川県 社会人 公式戦③	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
10	練習試合⑦ クラブユース	公式戦で勝利するために個人、チームが試合を通じトライ&エラーを行う	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームのテーマを理解のもとトライ&エラーが行える		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
11	神奈川県 社会人 公式戦④	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
12	神奈川県 社会人 公式戦⑤	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
13	神奈川県 社会人 公式戦⑥	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
14	神奈川県 社会人 公式戦⑦	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
15	神奈川県 社会人 公式戦⑧	練習試合をで培ったものを個人、チームとして勝利のために発揮する	1 試合準備	グラウンド準備、ウォーミングアップ、チームミーティングを適切に行える		
			2 試合中	個人、チームが勝利を追求しパフォーマンス発揮ができる		
			3 試合後	クールダウン、振返りを適切に行える		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						